

第5回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会会議録

開催日時	平成20年1月22日(木) 午後2時～ 午後3時30分
開催場所	403集会室
出席者 (13名)	鳴川 東、藤澤 泰子、樋口 豊子 土屋 輝雄、安田 吉一、柄澤 暢吉 林 喜代三、内野 好江、瀬谷 智子 青木 秀樹、荒幡 善政、比留間久仁男、荒幡 耕司
欠席者 (2名)	乙幡 英次、石井 裕光
傍聴者 (1名)	善家裕子
事務局	鈴木主査、木村
配布資料	*第4回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会会議録 *モデル地域選定方法について *排出方法及び収集方法について
議題	1 モデル地域の選定方法について 2 排出方法及び収集方法について 3 その他

<p>会議要旨</p>	<p>●座長 それでは、これより第5回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会を開催させていただきます。 本日の出席委員は、<u>13名</u>で定足数に達しておりますことを委員の皆様にお知らせします。 なお、欠席委員は、<u>石井委員</u>ほか1名であります。 本審議会に<u>1名</u>の傍聴者を許可しておりますので、よろしくお願いいたします。 また、傍聴者の皆様につきましては、事前に配布いたしました「傍聴者心得」によりまして、 本懇談会の進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>それでは、議題に入ります前に配布資料の確認につきまして、事務局より説明をお願いします。</p> <p>●事務局 それでは、お手元に配布いたしました資料につきまして、確認させていただきたいと思えます。 資料の確認を行う。</p> <p>●各委員 異議なし。</p> <p>●座長 それでは、議題（1）の「モデル地区の選定方法について」には入ります。事務局より報告いたします。</p> <p>●事務局 資料の確認と議題（1）報告を行う。</p> <p>●座長 ただ今、議題（1）の報告が事務局よりありましたが、これについて質疑等がございましたら、お受けいたします。</p> <p>●委員 生ごみは7,000tあるため、7,000tの生ごみを資源化できるところである程度決めることが必要ではないか、また、他市町村の民間施設を利用するにしても、運搬等のコストもかかるため農協等でできることやどのように行なうか、どのようなところで資源化するのか等を考えないとなかなか話は進まないのではないかと、生ごみを暫定的に行なうのならよいが、今回はモデル地区で行い最終的には市内全域で行なうのなら、処理ができる施設があるかが大事ではないか。</p>
-------------	---

	<p>●座長 委員からの質疑に対しての答弁をお願いいたします。</p> <p>●事務局 当初7, 000 tについて決めようとする部分ではなく、それぞれの方法について、効果がどのくらいあるのか計測をしたい、方法を決め地区を決めるのと、地区を決めて方法を決めるのといずれにしても、その地区からどのくらい「生ごみ」が排出されるかで、受けていただく業者があるかを決めたい、前回方法が決まらなかったため、今回目先を変え地区を決めてからということ議題をあげてみました。 また、処理方法のガス化については、都内に持っていくには運搬経費や時間が係るため、近隣市で処理先を検討し本市にあった収集や処理を考えると堆肥化か肥料化が良いのではないかと。 もし、今回の議題と合わせ方法も決めていただければ今年度中に処理先の選定や処理コスト等も考えて生きたい。それと7, 000 tの処理については、処理業者等にアンケート調査をしてどれだけの処理が可能か調べていきたい。</p> <p>●座長 他に質疑等ございませんか。</p> <p>●委員 処理方法として、生ごみのまま週1回や2回収集を行なうか、又は乾燥して収集を行ない処理するのかでは、処理コストや収集回数も違うため色々な方法を考えていった方が良いのではないかと。</p> <p>●委員 処理する方法は現在、ガス化にするか、堆肥化にするか決まってはいない、また瑞穂町に堆肥化施設ができると聞いているのでその施設を利用するのがよいと思う。</p> <p>●座長 委員からの質疑に対しての答弁をお願いいたします。</p> <p>●事務局 瑞穂町の資源化施設については、一般廃棄物処理の許可が出ていない状態であり、どのように処理して、どのような資源化を行なうのかははっきりしていないため、資料として出せる段階ではないかと、瑞穂町や業者へ今後の経過等を聞いている状況である。</p> <p>●座長 委員からの質疑に対しての答弁をお願いいたします。</p>
--	--

	<p>●委員 なるべく早めに決めたほうが良いのでは、また、小川町は、NPOが行なっていたのではないか。</p> <p>●事務局 小川町は、職員が集積所にバケツを設置し、収集及び処理施設への搬入は町が行っている。また、投入については、NPOが行なっている。 狭山市については、以前は市民グループでEM菌を利用した生ごみの資源化を行っていた。グループの活動が大きくなり、実験で行っていた業者がいたが、市の事業として行うことができないかと市民から要望があり平成16年から行なっている。市では処理業者を見つけ当初は、神奈川県で行なっていた業者が、狭山市に工場を建設し今日に至っている。</p> <p>●座長 他に質疑等ございませんか。</p> <p>●委員 ただ堆肥を作っても利用してくれるところがないと困り、生ごみだけでは良い堆肥ができず。剪定枝や落ち葉を混ぜないとだめと聞いているが、また、堆肥化をどのように行なうかを考えないとモデル地区を作ることを決めるより、どのように堆肥化をするのか決めないといけないと思うのですが。</p> <p>●委員 当然、平行して行なうしかない、処理の仕方が決まっていなければ、処理先を決められないし、どのような処理をするかで、どうなるか決まってくるわけですから、両方考えまた瑞穂を前提に話を進めていくわけにもいかない、瑞穂で処理するならばどのような方法で行なうかを考え、モデル地区か全地区かこの会議で考えていかないと話は進まない。</p> <p>●委員 モデル地区はどこで行なうのですか。</p> <p>●座長 それは、この会議で考えていきます。</p> <p>●委員 モデル地区としては集合住宅が良いのでは、村山団地、三ツ藤住宅、中藤団地等がよいのではないか。</p> <p>●委員 事務局の提案もある程度わかりました。このままでは事が進まな</p>
--	--

	<p>い、あくまでも方法論で決定ではないので、ある程度のたたき台を作りつめていき、受け皿が決まれば排出量も決まりそのときは、モデル地区を増やすか減らすか二つの方法論で考えていったほうが進み方はよいため、瑞穂町の未定の処理業者で考えていくのもどうでしょうか、事務局の提案にしたがって議論し、3月中には処理先もある程度わかると思います。この懇談会としては、処理先が決まらないと進まないとは思いますが、仮定ですので柔軟性をもって話し合っていくのがよいと思っております。</p> <p>●座長 皆様のご意見はいかがですか。</p> <p>●委員 この方法が決定したら、いつから行なう予定ですか。</p> <p>●事務局 平成20年度9月ごろ決定し、平成21年度には行ないたい。</p> <p>●座長 議題に伴って行ないたいと思っておりますがいかがでしょうか。 まず、市内の集合住宅などで、議題(1)についてよろしければ、議題(2)の「排出方法及び収集方法について」に入ります。</p> <p>●委員 モデル地区については、集合住宅や自治会等公募をして集めることもよいのでは。</p> <p>●委員 回覧等で周知し、自治会への協力もよいと思っております。</p> <p>●事務局 自治会等協力をさせていただくため、PRをしていきたい。</p> <p>●委員 事務局としては、収集量はどのくらいがよいというのはあるのですか。</p> <p>●事務局 収集車一台で何世帯収集できるか、何世帯のモデルが可能か。また、何世帯のモデル地区を行なうため収集車が何台必要か等を検討し収集量を決めていきたい。</p> <p>●委員 公募し何世帯の協力があるかが気がかりである。</p>
--	---

	<p>● 事務局 事務局からの提案としては、いままでのご意見を踏まえ、受け入れ側の施設の問題、予算の問題があると思います。方法や地区の選定方法は、第1案から第3案ぐらい出していただきいろいろ組合せ検討していただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>● 座長 いまの事務局からの提案について皆さんいかがでしょうか。</p> <p>● 委員 それでよいとは思いますが。地域の中で希望者を募っていかないと、生ごみ分別ができないのではないかと。</p> <p>● 事務局 積極的に手を上げてくれた方を戸別収集するということになります。</p> <p>● 座長 収集は戸別収集をする事でいかがですか。</p> <p>● 委員 そうではなく、一棟全部ではなく協力してくれる世帯を収集したほうが良いのでは。</p> <p>● 座長 戸別収集というのが、いまのご意見と同様だと思います。</p> <p>● 事務局 通常の収集の他に、戸別で収集を行うことですが、ごみの全体量や減量効果を見るには戸別ではなく全体で行なう方法だと効果がわかりやすい。</p> <p>● 委員 モデル地区を決めて希望者となるとモデル地区を決める意味がないのでは、原則としてその地域の人が行なってもらう。</p> <p>● 委員 団地などは高齢化が進んでいるため、希望者ということになると50世帯で3世帯だけということも考えられる。</p> <p>● 委員 どのくらいの量というのは、把握はできるのではないかと。</p> <p>● 委員 分別方法や排出により、変わってくるのではないかと。</p>
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ● 座長 みなさんのご意見はどうでしょうか。 ● 委員 まずは、PRをおこなうこと、保管については臭いが重要になる、保管するため何を提供するか。 ● 委員 やはり臭い等を考えるとEM菌や乾燥するのが良いのではないか。 ● 事務局 生ごみも腐ってしまえば資源にはならないため、保管についてはバケツが必要また、回収を3回にして腐る前に回収する方法も考えられる。 ● 座長 議題1についてはよろしいでしょうか。議題2に入りたいのですがよろしいでしょうか。 ● 委員 生ごみは週1回になるか2回になるかわかりませんが、可燃収集の日に排出することになりますか。 ● 事務局 地区により、生ごみだけを収集する方法や可燃ごみの日に排出する方法。いろいろな方法によりコスト等を算出していきます。 ● 委員 ごみの処理金額については、どのくらい係るのか計算したことがありますか。 ● 事務局 現在、可燃ごみ処理については、処理料金として衛生組合の負担金及び最終処分場の負担金になります。ごみを減らせば処理コスト負担金を減らすことになります。 また、生ごみから出る水分をしぼるため、家庭での水切りや、収集後車両で水分をしぼる方法も考えています。生ごみの10パーセントの水分をしぼれることで、金額としては7,000万円ぐらい安くなると試算していますが、生ごみを資源化することでどのくらい経費がかかるのかは、今後試算していきます。 また、資源化によりお金がかかる場合もあるので、それがわかりしだいお示しします。
--	---

	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員 生ごみ全体を集め行なうよりも、バケツで収集する方法が良い。 ● 委員 いま会議を聴いていて、議題1を行なっているので議題どおり会議を進めてほしいのですが。 ● 座長 ご意見に従い行おうと思います。事務局をまとめていただきますか。 ● 事務局 議題1については、いろいろなご意見をいただき、ありがとうございました。 ● 座長 それでは議題(2)に入ります。事務局より報告かありますか。議題(2)の報告を行う。 ● 座長 ただ今、議題(2)の報告が事務局よりありましたが、これについて質疑等がございましたら、お受けいたします。 ● 委員 収集方法については、狭山市等の実績ではバケツでの排出方法が一番良いのではないかと。 ● 事務局 現在、生ごみを収集している市ではバケツを利用している場合が多い。排出方法、収集方法、処理方法でどのくらいの金額がかかるのかを試算していきたい。 ● 委員 戸別にして、それぞれの家にバケツを配布してどのくらい予算が必要か。排出及び収集は戸別収集を行うのが良いのではないかと。 ● 座長 排出については、バケツでの排出で行なうという結論でよろしいですか。それでは、生ごみの収集頻度について事務局より説明をお願いします。 議題(2)生ごみの収集頻度について説明。 ● 座長 生ごみの収集頻度について質疑等ございませんか。
--	---

	<p>● 委員 生ごみを抜かせば、水分がないため週1回でも大丈夫ではないか。</p> <p>● 委員 生ごみを週1回では、夏場等腐ってしまうのではないか。</p> <p>● 委員 抗菌バケツの方法があります。金額は高いと思いますが、東村山市でも利用していた。東村山市では、分別されない生ごみについては、バケツに張り紙をしている。</p> <p>● 委員 可燃ごみ分別するには、介護等でおむつが多く感じますが。</p> <p>● 委員 生ごみを分別するのだから、生ごみ以外を入れないように徹底することが必要で、収集も戸別で品目別収集を行うわけですが、可燃ごみが混入することがあっても、オムツなどが混入することはないのではないか。</p> <p>● 委員 週1回で行なうか、週2回で行なう両方の方がいます。事務局も予算のことをいすぎるので。</p> <p>● 委員 その予算については、これから収集を何回にすくかモデル地区を何世帯にして、バケツを利用し、配布も行なうかを会議で決めなければいけないのではないか。</p> <p>● 座長 収集回数は、排出側としては多いほうが良いとは思いますが、回収が多くなると予算がかかる。</p> <p>● 委員 2回、3回収集はモデル地区を何世帯で行なうかを決めてから週何回収集を行うかを決める方法が良いと思う。</p> <p>● 事務局 現実問題として、可燃ごみはパッカー車で収集を行っているが、バケツ収集にすると、平ボディー車を利用しそこに大きいバケツを乗せ収集を行うため、同じ車両で収集を行うのは不可能である。また、バケツで排出して頂くようになればモデル地区の皆さんにバケツを提供することになり、回数については1回でも2回でも3回でも、回数については皆さんで調整していただきたい。</p>
--	---

	<p>●座長 他に質疑等ございませんか。 特にないようですので、議題（3）の「その他」に入ります。事務局より何かありますか。</p> <p>●事務局 特にありません。</p> <p>●座長 特にないようで、議題（3）の「その他」につきましては、終わらせていただきます。 以上で、本日の議題は、すべて終了いたしました。 次に、第6回ごみ資源化等市民懇談会の開催時期について事務局にお尋ねいたします。</p> <p>●事務局 第6回のごみ資源化等市民懇談会は、3月に開催を予定しておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>●座長 これをもちまして、第5回武蔵村山市ごみ資源化等市民懇談会を閉会させていただきます。</p>
--	--

